

各 都道府県介護保険担当課（室）
各 市区町村介護保険担当課（室） 御中
介護保険関係団体

厚生労働省 老健局高齢者支援課
介護業務効率化・生産性向上推進室

ケアプランデータ連携システムの地方公共団体向けセミナー開催と直近の動向について（情報提供）

介護現場の生産性向上の取組みの一環として、国民健康保険中央会により「ケアプランデータ連携システム」が運用されております。

本システムは、令和5年介護報酬改定により構築が決まり、令和8年度からの本格稼働を、目指している「介護情報基盤」の一部として運用開始されています。介護情報基盤にデータを収集する事業は地域支援事業と位置付けられており、介護情報基盤のスムーズな運用開始のためにも、本システムの早期の利用開始は欠かせないものです。

つきましては、都道府県・市区町村が、地域で事業所グループを構築し、地域でケアプランデータ連携を促進するためのセミナーを、国民健康保険中央会が開催します。地方公共団体向けのセミナーではありますが、介護事業所の皆様にも有益な内容となっております。各事業者団体・職能団体の皆様におかれましては、会員事業所の皆様が積極的に視聴いただけるよう、確実な情報提供をお願いいたします。各都道府県・各市区町村の皆様におかれましては、介護情報基盤の運用における役割を再度ご確認ください。管内介護事業所が本セミナーを積極的に視聴いただけるよう、確実な受講勧奨をお願いいたします。

併せて、10月2日から4日にかけて開催された「国際福祉機器展示会（H.C.R.2024）」に出展した様子が、国民健康保険中央会より報告されましたので、情報提供いたします。

記

- 1 セミナー名 地方公共団体向け ケアプランデータ連携システム活用ウェビナー
「介護現場が変わる!地域が取り組むケアプランデータ連携のいま」
- 2 目的 積極的に活用している事業所、地方公共団体、国民健康保険団体連合会の事例を紹介し、生の声を聞くことにより、今後の施策の企画・制度設計のヒントにする。
- 3 視聴方法 詳細は別添をご確認ください。

●YouTubeにてライブ配信いたします。

URL：<https://x.gd/DhM3Z>

▼YouTube 視聴リンク



ケアプラン データ連携システム

きっといま、日本にいちばん必要なDX。

介護現場が変わる!

『地域が取り組むケアプランデータ連携のいま』

日時：2024年12月4日(水) 13:30～15:00

会場：Zoom (YouTube Live併用) によるオンライン開催

対象：地方公共団体／国民健康保険団体連合会
(介護事業所・一般の方もYouTubeにてご視聴可能です)

プログラム

介護現場における生産性向上について

1 ～自治体の皆様に期待すること“ケアプランデータ連携を中心に”～

厚生労働省老健局高齢者支援課 室長補佐 秋山 仁 氏



TRAPEの鎌田氏と聞く！新たな普及施策と事業者の声

事業所にとって、自治体施策の存在は導入を決める大きなポイント。
普及施策の例、利用者の声から、今できることのヒントをみつけましょう！

2 司会 株式会社TRAPE 代表取締役 鎌田 大啓 氏
登壇者 【地方公共団体・関連団体】
兵庫県/横浜市/米子市・鳥取県国保連合会/
日本介護支援専門員協会
【介護事業所】
つなぐ手ケアマネセンター



3 ケアプランデータ連携システムの最新情報
国民健康保険中央会

YouTube Live 視聴方法

※ プログラムの内容は変更となる可能性があります。
予めご了承ください。

以下のURLにアクセスいただき、ご視聴ください。

<https://x.gd/DhM3Z>

Zoomウェビナーの内容は、YouTubeにてライブ配信いたします。
Zoomウェビナーに申し込みされていない方は、このURLにアクセスして
YouTubeから視聴していただくことが可能です。なお、視聴制限はございません。
Zoomウェビナーのストリーミング配信であるため、再生遅延が発生することを
ご了承ください。



関係各位

公益社団法人 国民健康保険中央会

国際福祉機器展(H.C.R.)2024 ケアプランデータ連携システム出展について(ご報告)

介護現場の負担軽減と職場環境改善の一環として、令和5年4月から「ケアプランデータ連携システム」の導入が始まり、その活用が進んでいます。

この度、10月2日から4日にかけて開催された「国際福祉機器展示会(H.C.R.2024)」に出展いたしました。3日間で1,700名を超える方々にお立ち寄りいただき、大変盛況のうちに終了することができました。展示会への多数のご来場、誠にありがとうございました。

来場者の方々から「デジタル化が進めば時間や手順の短縮に繋がり、大変便利であると分かった」などのお声を頂き、本システムの必要性を改めて感じていただけたと考えております。また、展示会内で同時開催いたしました出展社プレゼンテーション「介護の新常識!! ケアプランデータ連携システム」につきましては、国際福祉機器展(H.C.R.)2024 Web 展サイト内にてアーカイブ配信しております。出展社プレゼンテーションにご参加されなかった方は是非ご覧ください。

【展示会の様子】

詳細は、別紙の開催レポートをご覧ください。当日行いましたアンケートの結果も掲載しております。



【国際医療福祉機器展(H.C.R.)2024 公式サイト】 <https://hcr.or.jp/>

【国際医療福祉機器展(H.C.R.)2024 Web 展公式サイト】 <https://www.hcr-web.jp/login>

出展社プレゼンテーションのアーカイブ視聴にはWeb展の登録が必要です。

なお、当日配布した資料につきましては、ヘルプデスクサポートサイトよりダウンロード可能です。合わせてご利用ください。



ケアプラン データ連携システム



国際福祉機器展(H.C.R.) リアル展出演レポート

開催した背景と目的

現役世代の人口が減少し、介護人材の確保が困難になる状況下において、介護分野の生産性の向上を図るために重要なのが、ケアプランデータ連携システムです。このシステムの認知と理解向上を目的に国際福祉機器展(H.C.R.)に出展いたしました。

開催結果サマリー

出展日：2024年10月2日(火)～10月4日(金)

ブース来場者：1,700人

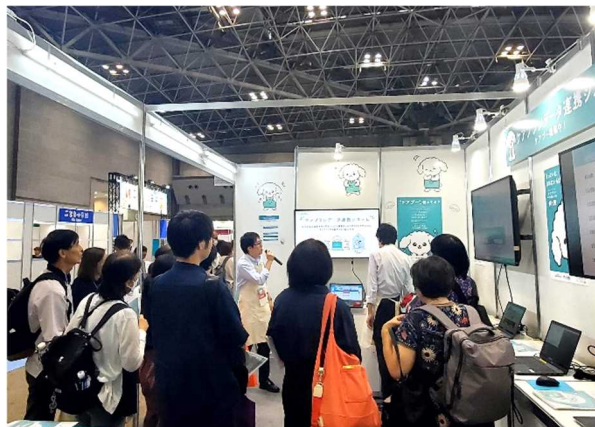
特別講演来場者：52人

当日の様子

◆ **ブースの様子** 公式キャラクター「ケアプー」が目印となるブースです。



展示ブースでは、システムの概要や基本操作が 15 分でわかるミニセミナーを複数回開催しました。毎回多くの方に視聴いただき、「勉強になった」と好評のお声を頂きました。



来訪いただいた事業所様個別にシステムを体験、相談いただきました。実際にシステムを触ることを目的に来訪いただいた方がたくさんおり、簡単さを実感頂きました。



◆ **特別講演の様子** 3 日目に厚生労働省 秋山様による特別講演を開催いたしました。最終日の遅い時間にも関わらず 50 名以上の方に参加いただき、今後の動向やシステムについて理解を深めていただきました。



- ◆ **当日ノベルティ** 来場者にケアプーうちわを配布しました。アンケート回答者にはケアプーメモパッドを配布しました。今後のイベントでも、こうしたグッズを配布する可能性がございますので、チェックしていただけると幸いです。



アンケートの結果

展示ブース来訪者、特別講演参加者に対して実施したアンケートの結果を取りまとめました。(計 62 名)

- **来場者属性** 幅広い年代、役職の方に来ていただきました。

年齢	回答数	役職	回答数
20代	1	管理職	19
30代	6	一般職	15
40代	24	経営者	10
50代	17	その他(専門職)	7
60代以上	6	該当なし	2
(空白)	8	(空白)	9
合計	62	合計	62

- **介護ソフトの導入状況** 介護ソフトを既に導入いただいている事業所が大半でした。

利用中の介護ソフト	回答数
介護ソフト未導入	2
介護ソフト導入済み	42
(空白)	18
合計	62

- **導入意向** 約半数の方が導入済み、導入検討中と前向きでした。(事業所以外の回答を含む)

導入移行について	回答数
導入済み(利用中)	8
導入済み(未使用)	2
導入済み(テスト中)	1
導入予定(年度内)	3
導入予定(時期未定)	17
導入予定なし	21
(空白)	10
合計	62

- **(導入予定なしの回答者)導入しない理由** 周りの事業所が導入していないことが理由のひとつでした。

(導入予定なしの方)導入しない理由 複数回答	回答数
周りの事業所が導入していないため	11
利用中の介護ソフトが対応していないため	7
ライセンス料が発生するため	5
必要な端末がない為	1
合計	13

- **フリーアンサー抜粋**

- ◇ システムの内容が知れて大変参考になりました。ありがとうございました。
- ◇ **デジタル化が進めば時間や手順の短縮に繋がり、便利であると分かった。**
- ◇ とても便利なものと知ることが出来ました。
- ◇ 見たことない画面の操作など見られてよかった
- ◇ 仕組み自体はぜひ利用したいものなので、法人内ですすめたいです。
- ◇ 使いたいのが相手がいない。**サイトに情報たくさんあるの知らなかった。便利。**
- ◇ 事務作業をペーパーレスにしていきたい。ケアマネの負担を軽減したい。
- ◇ 只今研修を検討させていただいており、今日は私の勉強のため来場いたしました。ありがとうございます。
- ◇ 勉強になりました。ありがとうございました。
- ◇ 流れなど全体像がつかめました。ありがとうございます。
- ◇ **連携システムは今後必須のシステムです。頑張ってください。**

本レポートに関する問い合わせ先について

ケアプランデータ連携システム

ヘルプデスクサポートサイト

受付時間：09：00～17：00（土日祝日休）

電話：0120-584-708（通話無料）

URL：<https://www.careplan-renkei-support.jp/>

【お知らせ】 ヘルプデスクサポートサイトを是非ご活用ください。

導入事業所の声、コストのシミュレーションツール、操作体験チュートリアル等
導入前、導入後の事業所のお悩みや不安を解消する情報を揃えております。



<https://www.careplan-renkei-support.jp/>



【お知らせ】 最新情報やお役立ち情報は、X(旧 Twitter)でも発信しています。



@cp_renkei

アカウント : https://x.com/cp_renkei?s=20

※ケアプランデータ連携システムの操作や導入に関するお問い合わせは、
以下の連絡先までお願いいたします。

ケアプランデータ連携システム ヘルプデスク

TEL : 0120-584-708 受付時間 9:00~17:00 (土日祝日は除く)

お問い合わせフォーム :

<https://www.careplan-renkei-support.jp/contact/index.html>